



山梨大学 浜松医科大学 北里大学 昭和大学 聖マリアンナ医科大学 医師キャリア形成センター

目次

はじめに	1
今月のレポート	2
大学通信	4
お知らせ	5

5年目を迎えた高度医療人養成事業
 今年度も連携大学5校 力をあわせ頑張ります!
 どうぞ よろしくお願ひいたします。



24年度がスタートしました!

新年度を迎え、早1ヶ月半が過ぎようとしています。新しい環境にも慣れ、生活のリズムも整ってきたところでしょうか。

大学病院連携高度医療人養成事業も5年目を迎えました。この事業は、それぞれの大学の有する特色ある診療技術等を最大限に活用し、これを相互に補完することにより高度な医療人を育成することを目的としています。

本グループ(FUJIYAMA-NET)の5大学は、いずれも関東近県に位置していることから、密接な連携が取りやすいこと、医師等関係者の往来が比較的容易なこと等の地の利点を活かし、講習会や研修会・大学間の人的交流などを実施してきました。大学の垣根を越えた交流は、知的・技術的な刺激となり、より広い視野を得ることができるのではないかと思います。これまで開催した講習会等も定着化し、回を重ねる毎に参加した先生方からも高評価を得られています。

今年4月からは、かねてより課題であった大学間の長期交流も始まりました。現在、山梨大学皮膚科の先生が、聖マリアンナ医科大学皮膚科で2ヶ月間の研修を行っています。あと半月ほどで終了となりますが、行かれた先生には研修の様子をこの紙面で報告していただく予定です。これを機に、次の交流へとつながることを期待しています。

下記にあるのは、今後予定している講習会です。この他にも、各大学などで開催予定のものもありますので、それぞれ詳細が決まりましたら、このFUJIYAMA News! や事業HP、各大学から順次お知らせする予定です。充実した内容の講習会となるよう、また、皆様のキャリアアップのお手伝いができるよう、私たちが引き続き連携強化し取り組んでいきたいと思ひます。大勢の方のご参加・ご協力をお願いいたします。

- 6月16日(土) 北里大学EUS-FNA
- 6月23日(土) 山梨大学CPC症例検討会
- 7月13日(金)~17日(火) } 富士山救護所研修
- 7月20日(金)~8月27日(月) }
- 7月15・16(土・日(祝)) 浜松医大精神科・児童精神科合同連続講座第1回目
- 9月8日(土) 臨床研修支援基礎講座
- 10月 インターベンション講習会(ビギナズコース)
- 11月17・18日(土・日) 腹部内視鏡下手術講習会(アドバンスコース)
- 12月 7・8日(金・土) 指導医WS

平成25年

- 1月12・13日(土・日) 冠動脈インターベンション講習会
- 1月26日(土) 女性医師シンポジウム
- 2月15・16日(金・土) 昭和大学胸腔鏡技術講習会 (日にちが変更になる場合もあります)





胸腔鏡下手術実技講習会

2月17日～18日の2日間、昨年に続き、茨城県石岡にある昭和シェル石油研修センター及び、昭和大学研修施設S-T E Cにおいて胸腔鏡下手術実技講習会を開催しました。

特別講師として、本講習会を主幹した昭和大学より、呼吸器外科の門倉 光隆教授、連携大学から聖マリアンナ医科大学呼吸器外科の安藤 幸二講師、そして山梨大学から心臓血管外科の松原 寛知講師の3名の先生をお迎えしました。連携する5大学病院から8名、関連病院から1名の合計9名の受講生に、昭和大学の事業コーディネーターである高木 康教授、聖マリアンナ医科大学の事業実施副責任者である信岡 祐彦教授、事業の統括コーディネーターである山梨大学の板倉 淳臨床教育センター長が参加されました。



昭和・門倉先生

講師の先生方

聖マリ・安藤先生



山梨・松原先生



講師と参加者による記念撮影

1日目には講師の先生方がスライド等を使用した講義を、2日目には実際に器具・機械を使用して実技実習を行い、受講生の知識修得と実技向上を図った充実した内容の講習会となりました。



1日目の講義終了後に行われた情報交換会では、軽食を囲みながら、参加者それぞれに自由に意見交換が行われました。普段なかなか上級医に聞けないことなど、この機会に質問をしたり、他大学の講師から直々にアドバイスをいただいたりと、大学の垣根を乗り越え、自身の知識及び技術向上のため、積極的に情報収集を行う姿が見られました。



情報交換会・和やかな雰囲気です



講習会終了後、講師の先生より終了証をいただきました

今月のレポート



平成23年度事業評価会議

東京の品川プリンスホテルにおいて、平成23年度の事業評価会議を開催しました。

主幹大学の山梨大学からは佐藤副病院長、統括コーディネーターである板倉臨床教育センター長、浜松医科大学からは瀧川病院長、阪原臨床研修センター長、馬場コーディネーター、北里大学からは小川コーディネーター、昭和大学からは高木医学教育推進室長、聖マリアンナ医科大学からは信岡キャリア形成センター長、旗野コーディネーターが参加され、併せて、各大学の事務担当者が出席しました。



評価会議の様子

会議では、交流研修の積極推進、5大学合同講習会の継続開催、広報活動の充実、そして本事業が高度医療人養成にどの様に役立っているのかを検証するため、現行までの実施事業を含めたアンケートによる分析を行う等、話し合われました。会議で示された今年度の幾つかの改善点を踏まえ、新年度の事業を展開していくこととしました。

今回、評価委員長である島根大学の廣瀬 昌博病院教授がご都合により欠席であったため、会議内容を後日ご報告することとして、臨床教育に精通されている独立行政法人国立国際医療研究センター臨床研究支援部長の伊藤 俊之先生をお迎えして、ご意見を伺うとともに、会議の終了後には特別講演として、現在及び今後の臨床研修に関してのお話をいただきました。

伊藤先生のお話は、具体的で分かりやすく、時折ユーモアを交えられ、予定時間を過ぎてても質問が止まぬほどで、情報交換会にその質問を繰り越すほど盛況でした。

本評価会議の結果を反映し、24年度は更なる飛躍を目指したいと考えています。



伊藤先生の講演の様子

今月のレポート



平成24年度第1回コーディネーター会議

4月16日に東京田町のC I C東京内、山梨大学リエゾンオフィスにおいて、24年度第1回目のコーディネーター会議を開催しました。

会議では、24年度の年間事業計画を確認するとともに、直近に迫っている5大学合同講習会（5/12～13腹部内視鏡講習会、6/16北里大学EUS-FNA、6/23CPC症例検討会）に関し、その詳細内容について話し合いが持たれました。

また、特別講習会として手術ロボット「ダヴィンチ」の講習会開催について聖マリアンナ医科大学から提案され、6/15に開催することが決定しました。

続いて、評価会議の際にも議題となった交流研修の活性化について、24年度の現時点の状況確認を行いました。新たな交流研修の話も進みつつあり、今まで以上に活発な交流研修を期待したいところです。

次回は5月21日に第2回会議を開催します。

毎月行われる コーディネーター会議



連携のための大切な
「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」





山梨大学

病院長と女性職員の懇談会



※ 第1回ランチトーク ※

2月20日、山梨大学医学部附属病院第1回女性職員との懇談会が行われました。これは、1月に行われた「女性医師シンポジウム」の際、島根大学の取り組みを参考に、島田病院長から「女性職員との懇談会（ランチトーク）からまず実現しよう」という発言がきっかけとなり、実現の運びとなりました。

初めての懇談会は、女性医師シンポジウムでも代表世話人をお願いした産婦人科の大森真紀子先生を中心に、皮膚科の田中先生、麻酔科の中嶋先生、検査部検査技師の長田さん、看護部助産師の野村さん、そして事業事務担当の6名が参加しました。

ランチをしながら、院内保育園関係や現在進めている病院再整備計画における病院施設、女性に優しい病院職場環境についての提案、また高度医療人事業に関連し、復帰支援プログラムの更なる充実に関する意見など、様々な話題が飛び交いました。

病院内のトイレに赤ちゃんホルダーを、また、授乳室・女性トイレの増設、職員授乳室の新設など、女性目線でなければ気付かないような新たな提案もあり、懇談会は熱い議論が交わされ、2時間があっという間に過ぎていきました。

島田病院長も「今までいろいろと情報を収集していたが、本日、初めて聞く意見もあり、病院としても可能なところからまずは取り組んでいきたい」とお話になりました。

島田病院長の他にも、白沢事務部長、板倉先生、本事業の事務担当も参加し、様々な意見交換が行われ、初回より大変充実したものになりました。

今後もこの会を継続し、女性医師の復帰支援の一助としたいと考えます。

連携事業専修医登録者の方は、交通費・宿泊費を支給します。詳しくは事業担当者にお問い合わせください。

浜松医科大学

浜松医科大学 精神科・児童精神科合同連続講座第1回目

子どものころに興味がある研修医、医学生(5、6年生)
および精神疾患が大嫌いな小児科医、子どもが嫌いな精神科医のための診療のこつ

日時：平成24年 7月15日(日) 13:30~17:40
16日(月・祝) 9:00~12:00

場所：静岡新聞社 プレスタワー17階 静岡新聞ホール
(浜松市中区旭町11-1 TEL053-455-2001)

定員：100名(先着順)

対象者：研修医、医学生(5、6年生)、小児科医、精神科医

参加費：1,000円(学生無料)

7月15日 18時より懇親会(別途1,000円)を行います。ぜひご参加ください。

交通費宿泊費は各人負担となります。

7月6日(金)までに EメールまたはFAXでお申込みください。

《主催》浜松医科大学 児童青年期精神科医額講座・精神神経医学講座

《お問い合わせ先》浜松医科大学児童青年期精神医学講座

担当：坂本(erina@hama-med.)

TEL 053-435-2058 FAX 053-435-3621



北里大学 EUS-FNAトレーニングコース

- 日 時 : 平成24年 6月16日 (土) 11:30~18:30前後
場 所 : 北里大学東病院 内視鏡室
募集人員 : 各大学2名以内
講習内容 : オリエンテーション : 講義『EUSの描出のコツ』(仮)(コンベックス)
北里大学東病院 木田光広先生
特別講演 : 『EUS-FNAのコツ、および現況と今後の発展』(仮)
仙台オープン病院副院長 藤田直孝先生
ライブデモ : EUS-FNA (4例~5例程度) (講義の内容をライブで解説致します。)
ハンズオン : 描出・穿刺ファントムによるハンズオントレーニング
(2グループにわかれて実施予定)

* 定員になり次第、締め切らせていただきます。



CPC症例検討会

- 日時 : 平成24年 6月23日 (土) 10:30 ~ 15:00
* 15:00~ 情報交換会予定
会場 : 山梨大学医学部キャンパス 看護学科研究棟1階 8109講義室
目的 : 病理医の指導の下、研修医による症例発表を行い、症例検討会に出された症例を基に、
CPCレポートの作成を行う。
(2大学で4症例を予定しています)
症例発表大学 : 山梨大学・昭和大学

富士山救護所研修

- 日 時 : 平成24年 7月13~17日 ・ 7月20~8月27日
場 所 : 富士山八合目富士吉田市救護所 (海拔3,100m 太子館内)
派遣人数 : 班編成による交代制
1班の編成・・・医師1名、コメディカル(看護師、薬剤師等)1名
補助員(その他職員、学生等)2名
活動内容 : 医師は傷病者に対する応急処置等
コメディカル等職員は、医師の補助、傷病者の搬送補助、関係施設との連絡調整・記録等
滞在期間 : 1班につき原則2泊3日の滞在とする。(班編成日程表のとおり)
集合場所等 : 初日の午前7時30分までに5合目に集合し、3日目の午前10時30分頃下山する。



* 班編成日程表・交通手段・その他 詳細については、各大学事業担当窓口、もしくは下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

山梨大学 病院経営企画室 佐藤・小野
TEL: 055-273-9198 FAX: 055-273-9243 E-mail: y-renkei-med@yamanashi.ac.jp



各大学事業担当窓口

山梨大学

臨床教育センター：板倉
病院経営企画室：佐藤・小野
E-mail: y-renkei-med@yamanashi.ac.jp
TEL: 055-273-9198
FAX: 055-273-9243

浜松医科大学

臨床研修センター：馬場・高井
E-mail: rinkin@hama-med.ac.jp
TEL: 053-435-2098
FAX: 053-435-2866

北里大学

医師キャリア形成センター：小川
人事課：芳賀
E-mail: career04@kitasato-u.ac.jp
TEL: 042-778-9034
FAX: 042-778-9371

昭和大学

臨床研修センター：本阿彌
E-mail: m-kensyui@ofc.showa-u.ac.jp
TEL: 03-3784-8299
FAX: 03-3784-8276

聖マリアンナ医科大学

キャリア形成センター：旗野
臨床研修センター：関
E-mail: career-center@marianna-u.ac.jp
TEL: 044-977-8111(内線3290)
FAX: 044-976-7253

講習会等の参加希望・
お問い合わせは、こちらまで
お願いします。



編集後記



新年度を迎えました。やわらかな春の光を浴びて、草木の若芽が一気に芽吹く、この季節が大好きです。溢れんばかりの生命力を感じるからです。

先日、地元の支援学校の太鼓部がテレビで紹介され、熱心に指導する先生方、普通学校には負けないと優勝を目指し、ひたむきに練習を続ける生徒たちの姿に感動。部訓は「やってやれないことはない。やらずに出来るわけがない。」この言葉にドキッ!! そのとおりだよ・・・自分自身の反省と、ちょっと「やる気」を起こさせてくれる言葉となりました。



現在、専修医の皆さんも、自身の将来像に向けて様々なことを学び、習得していることと思います。FUJIYAMA-NETは、大学相互の連携で、皆さんのキャリアアップの支援をしています。他大学の先生方との交流からも、大きな収穫があるでしょう。

これまでFUJIYAMA-NETに興味のなかった方も、今年は思い切って参加してみませんか。